

東日本大震災 学童保育義援金の呼びかけ

2011年3月14日 全国学童保育連絡協議会

3月11日の午後2時46分、宮城県沖を震源とする日本観測史上最大の地震がおきました。岩手県・宮城県・福島県をはじめとする東日本一帯は未曾有の災害に襲われました。特に、岩手県・宮城県・福島県の沿岸地域での津波による被害は、いくつもの市や町や地域が壊滅するというたいへんな被害が起きています。

まだ詳しい全体の状況はわかりませんが、時々刻々と明らかになる被害状況は甚大であり、想像を絶するものです。

犠牲となった方々に対して慎んで哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた地域、皆さんに心からのお見舞いを申し上げます。

被災地域には学童保育もたくさんあり、施設そのものが根こそぎ流されてしまっているところも少なくないと想像されます。学童保育の子どもたち、指導員、保護者の皆さんは大丈夫なのか、心を痛めます。

全国学童保育連絡協議会は、3月12日に開いた役員会で、被災地の学童保育を支援するための義援金を広く全国の学童保育関係者に呼びかけることを決定しました。ぜひとも多くの方々に呼びかけていただくことをお願いいたします。

東北地区には、岩手県学童保育連絡協議会があり、現在、各地に連絡をとっていますが、被害が大きい大船渡・陸前高田の学童保育関係者には連絡がとれないとのこと。また、宮城県には仙台市学童保育連絡協議会が活動していますが、県内の状況がつかめていません。福島県には福島市連協といわき市連協がありますが、まだ状況の把握ができないとの連絡がありました。

16年前の阪神淡路大震災を経験した兵庫県学童保育連絡協議会の皆さんから、経験をもとにした被災地や私たちへの以下のアドバイスも届きました。

①最優先されるのは安否確認、②そのための連絡先の確保。連絡協議会役員・個人、行政担当者、学校など、③できるだけ早く連絡協議会の役員会（学童保育・連絡協議会・集まれるところ）…自身が被害者なので気づかないことがある、④全国連協にはまず情報収集と発信、義援金のよびかけ。

全国学童保育連絡協議会として、継続的に情報収集をし、皆さんにもお伝えしていきたいと思えます。ぜひとも広く学童保育関係者に東日本大震災学童保育義援金の呼びかけをお願いいたします。

*義援金の使い方は、今後の状況を把握をしながら検討し、全国運営委員会等で決めていきます。

東日本大震災学童保育義援金の振込先

銀行コード：0005 店番：351 三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通預金 0012273
全国学童保育連絡協議会 代表 木田保男

*問い合わせ先 全国学童保育連絡協議会事務局まで
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-13
TEL 03(3813)0477 FAX 03(3813)076
Eメール zghrk@xui.biglobe.ne.jp